

子ども農山漁村交流プロジェクトによる効果(受入地域)

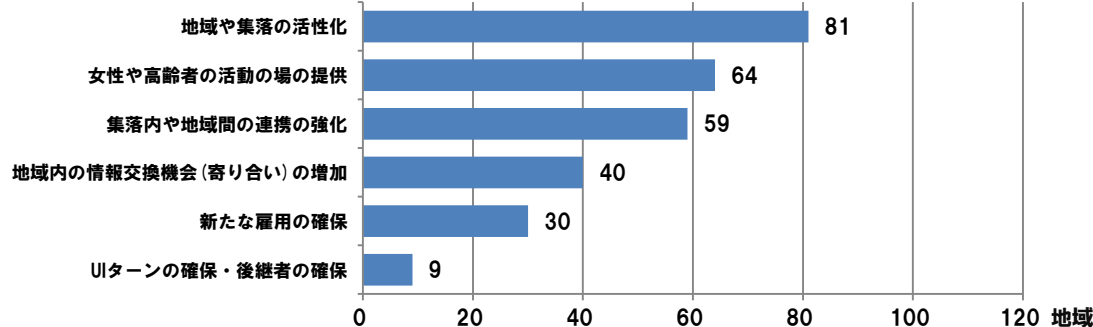
○「子ども農山漁村交流プロジェクト」は、農山漁村での様々な体験活動を通じた子どもたちの生きる力の育成とともに、農山漁村地域のコミュニティの活性化、農家所得の向上、農山漁村・農林漁業への理解醸成に大きく寄与。

地域コミュニティの活性化

受入地域のうち、約7割が「地域や集落の活性化」につながっていると認識しており、取組の目的(きっかけ)に寄与。

また、女性や高齢者の活動の場が確保されるとともに、地域や集落間の連携の強化にも寄与。

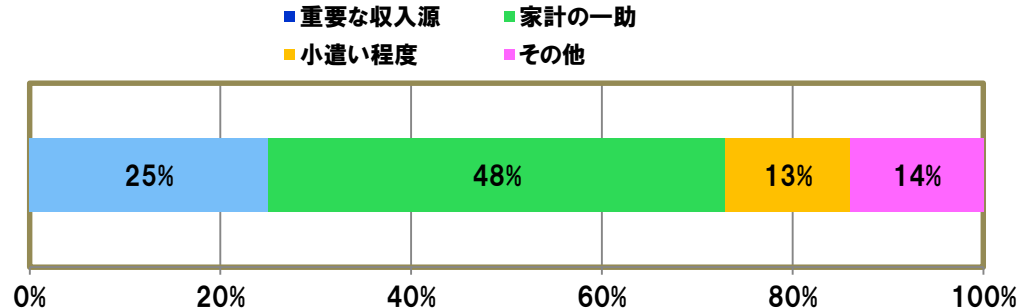
資料: 農林水産省農村振興局都市農村交流課「子ども農山漁村交流プロジェクトアンケート調査(2012年6月調べ) [H20~23年度の137モデル地域を対象とし、120地域が複数回答]



農家所得の向上

受入を行った農家民宿のうち、約3/4が家計を支える収入源になっていると認識。

資料: 農林水産省農林水産政策研究所「子ども農山漁村交流プロジェクトの効果に関するアンケート調査」(2008年)



農山漁村・農林漁業への理解醸成

国民を対象とした調査(国交省)では、子ども期に農林漁業作業を体験した場合、成人後においても農林漁業に高い関心。

資料: 国土交通省「国土の国民的経営の推進に係る基礎調査」(2007年3月公表)

